

バン型車安全輸送ニュース

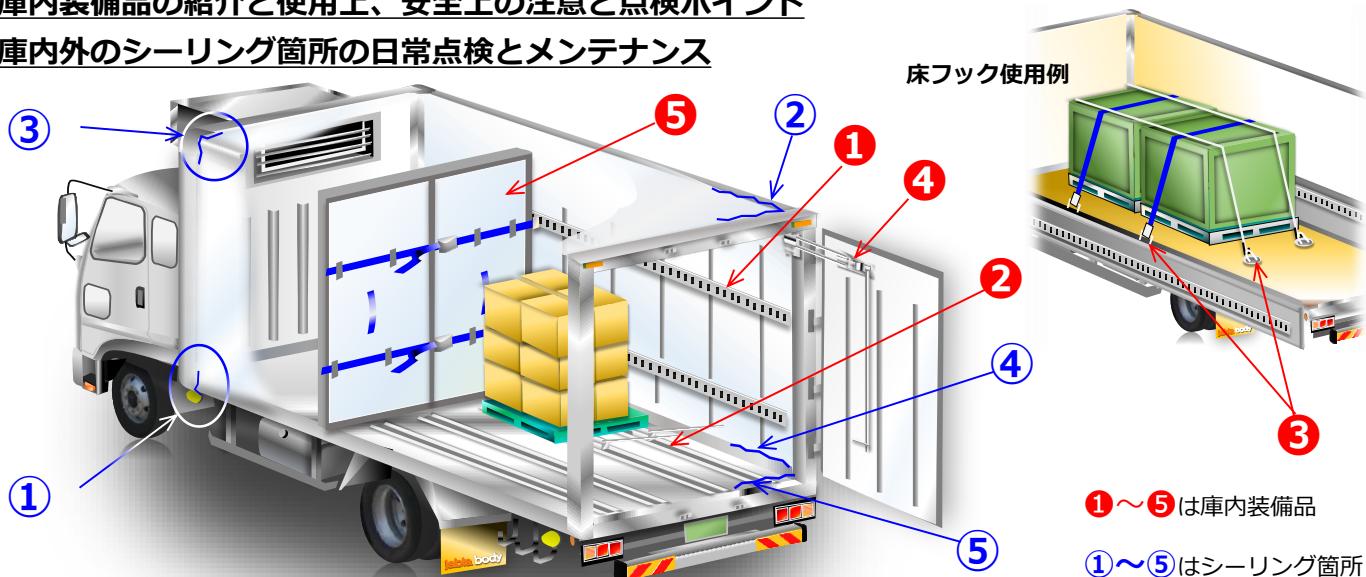
庫内オプション装備品の使用上の注意と点検編

トラック輸送に従事されている皆様へ

- ・荷役作業を効率的かつ安全に行うため様々な庫内装備品をボディー架装メーカーが設定しています。
- ・安全に使用して頂ける様に各種装備品の使用上、安全上の注意と点検ポイントについて解説します。
- ・バンボディーには防水性や気密性を保つために部材の合わせ目にシーリング材を使用していますが、その性能を維持するために点検方法とメンテナンスについて解説します。

庫内装備品の紹介と使用上、安全上の注意と点検ポイント

庫内外のシーリング箇所の日常点検とメンテナンス



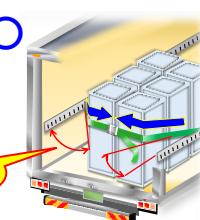
① ラッシングレール・ベルト・ビーム

特徴・使用方法：

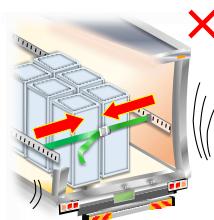
- ・庫内壁面に備え付けられたラッシングレールにベルトやビーム等の固縛装置で積荷を固定して転倒や荷崩れを防ぐことができます。

ラッシングベルトの掛け方の注意事項

角度を付けて使用

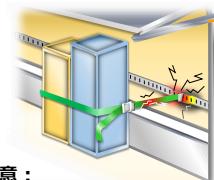


直引きでの使用

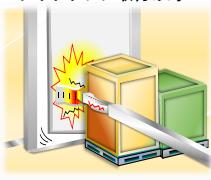


ウイングバン、サイドドア付車での注意事項

羽根に取付け時



サイドドアに取付け時



注意：

- ・サイドドアや羽根を開く際は、ベルトやビームを必ず取り外してください。
- ・ラッシングベルトやビームをつけたまま開くとサイドドアや羽根が破損するおそれがあります。

② 床レール

特徴・使用方法：

- ・荷物を積んだパレットを置いて滑らせることで荷台の前方まで移動させるための装備です。

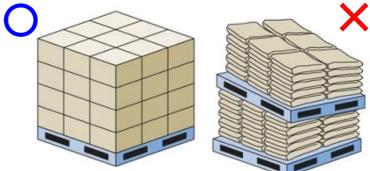
点検：

- ・レール内やスケート本体にゴミやホコリが溜まらない様、常時乾燥と清掃を行なってください。
- ・正常に作動しない場合、スケートの破損や荷崩れの原因になります。

床レール使用例



荷崩れしない積み方例



注意：

- ・荷物は出来る限り均等に載せて荷崩れを起こさない様に確実に固定してください。

(次ページに続く)

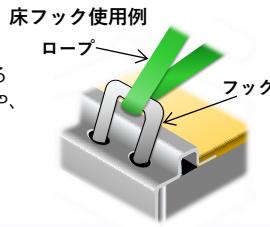
③ 床フック

特徴・使用方法：

- ・ロープやラッシングベルトで積荷を固定するのに使用します。使用時に引き出すタイプや、床埋込みの丸カンフックがあります。

点検：

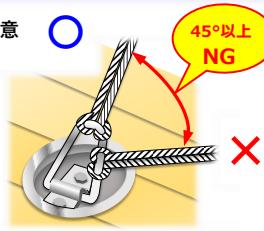
- ・使用前に緩みやガタ付きを確認して異常がある場合には使用を中止してください。



ロープ掛け角度注意

注意：

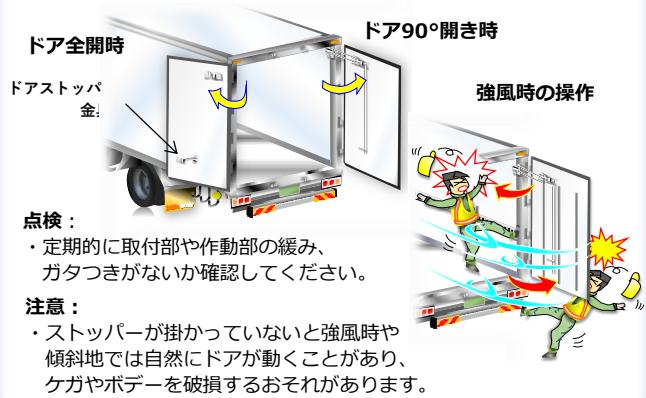
- ・フックに掛かる荷重は各製品の決められた範囲内としてください。
- ・また、ロープを引っ張る方向はフックに対して垂直方向より±45°以内でご使用ください。



④ ドアストッパー

特徴・使用方法：

- ・リヤドアを全開、または90°開いた状態で固定する装置です。



点検：

- ・定期的に取付部や作動部の緩み、ガタつきがないか確認してください。

注意：

- ・ストッパーが掛かっていないと強風時や傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ケガやボディーを破損するおそれがあります。

⑤ 移動式間仕切り (ソフトタイプ)

特徴・使用方法：

- ・庫内を前後に分けて温度帯別の積荷管理が可能になり、荷量に合わせて庫内の割合を変化させられる装置です。

移動式間仕切り使用例

点検：

- ・間仕切りに損傷や縫糸のほつれ等の異常がある場合は使用を中止してください。

注意：

- ・間仕切りはベルト等で確実に固定してください。
- ・間仕切りで積荷の固定はしないでください。
- ・積荷が動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。



シーリング箇所と劣化の日常点検

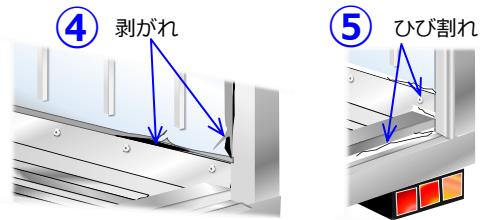
シーリングはバンボディーの防水性や気密性を保つため庫内外の様々な部位に使用されています。

そのためシーリングに不具合があると、庫外からの雨漏れ、床下からの水の侵入により床板やスペーサーなどの木材が水を含み腐食する恐れがあります。また、清掃時のブラッシング等でもシーリングが摩耗し水浸入の原因となります。

庫外シーリング



庫内シーリング



※上記の症状がある場合には、補修・修理などメンテナンスが必要です。架装メーカーにお問い合わせください。

庫内装備品の使用とシーリングについての注意事項！

- ・荷役作業は平坦な場所で必ずエンジンを停止させてから行ってください。チェンジレバーは『ニュートラル、又はパーキング』の位置にして、パーキングブレーキは確実に効かせて、タイヤに輪止めをセットして下さい。

1) 定期的に庫内装備品の作動状態を確認してください

使用前、又は定期的に庫内装備品の状態を確認してください。摩耗やガタ付きなど、損傷が無いかを確認して異常がみられた場合には修理や交換をしてください。

2) 庫内の整理整頓で作業環境の改善

庫内の整理整頓や清掃をすることで庫内装備品への劣化原因を取り除き、良い環境で使用することができます。

3) 作業環境や内容に合わせた安全装備

作業環境や作業内容に配慮した服装と、安全帽や防滑性のある靴などを着用して安全装備で作業しましょう。

4) シーリング箇所の日常点検とメンテナンス

シーリングは作業や清掃などの接触による損傷や、経年劣化によってひび割れや瘦せ、剥がれも生じます。

ボディーを長く愛用していただくためにも、シーリングの日常点検とメンテナンスをお願い致します。

※装備品の取付けや使用方法は、架装メーカー発行の取扱説明書又は、架装メーカーにお問い合わせください。